

魚病対策事業

後藤悦郎

隠岐島を除く県内の増養殖漁業の健全な育成をはかるため、飼育技術、防疫対策、水産用医薬品の適正使用等の指導を行なった。

また、魚病発生時にはその診断、同定を行ない、疾病の治療、処理対策、飼育技術の改善等の指導を行なった。

1. 防疫対策定期パトロール

表1に示す様に各増養殖経営体を巡回し、飼育管理指導、魚病発生状況調査等を行った。

表1 防疫対策定期パトロール

年月日	実施地域	対象魚種	年月日	実施地域	対象魚種	年月日	実施地域	対象魚数
63. 4.11	益田市	アユ	10.25	島根町	マダイ等	元. 2.21	益田市	アワビ
4.21	弥栄村	ヤマメ	10.26	島根町	ヒラメ等	2.21	浜田市	ヒラメ
4.22	羽須美村	コイ	11.17	吉田村	ニジマス	2.21	浜田市	ヒラメ
5.12	瑞穂町	ヤマメ	12.27	仁摩町	ヒラメ	2.21	江津市	ヒラメ
6. 7	川本町	アユ	12.27	大田市	ニジマス	2.22	金城町	ドジョウ
8.22	八束町	ヒラメ	2. 3	益田市	アユ	2.22	江津市	アユ
10. 7	仁摩町	ヒラメ	2. 6	三刀屋町	アユ	2.22	仁摩町	ヒラメ
10.18	江津市	アユ	2. 7	出雲市	サケ	3.23	頓原町	ヤマメ
10.21	江津市	ヒラメ	2.20	三刀屋町	アユ	3.23	吉田村	コイ
10.25	美保関町	マダイ等	2.21	益田市	アユ			

2. 魚病発生時の緊急対策

表2に示す様に各増養殖経営体に発生した魚病の同定、対策指導等を行なった。

表2 魚病発生時の緊急対策

年月日	実施地域	対象魚種	疾病の原因	指 導 内 容
63. 4. 8	頓原町	ヤマメ	せつ瘡病	抗菌剤の投与
4.19	川本町	ヤマメ	腹水症	絶食と換水率の増加
4.21	柿木村	ヤマメ	せつ瘡病	抗菌剤の投与と分槽
5.26	吉田村	ニジマス等	IHN症	防疫対策指導
5.31	江津市	ヒラメ	ビブリオ病	抗菌剤の投与
6.30	仁摩町	ヒラメ	原虫寄生症	ホルマリン浴
7.13	三刀屋町	ヤマメ	腹水症	絶食
7.14	仁摩町	ヒラメ	不明	病魚の取り上げ
10. 8	掛合町	コイ	原虫寄生症	薬浴と換水率の増加
12. 5	江津市	アユ	水質不良	
～ 12.13				
2.21	益田市	アユ	ビブリオ	抗菌剤の投与
3. 2	三刀屋町	アユ	ビブリオ	換水率の増加の病死魚の取り上げ
3.16	同上	アユ	同上	同上
3.18	同上	アユ	同上	同上

3. 魚病発生防止対策

ア. 養殖場の定期観測

表3に示すようにアユ種苗生産施設とヤマメ養殖場について水質検査を行なった。

表3 養殖場の定期観測

年月日	実施場所	対象魚種	測 定 項 目
63.11.14	江津市	アユ	水温、PH、DO、COD
元. 1.13	江津市	アユ	水温、PH、DO、COD、アンモニア態窒素、亜硝酸態窒素
2. 7	同上	アユ	全窒素、リン酸態リン
2.28	同上	アユ	同上
3. 3	大東町	ヤマメ	水温、PH、DO、SS、BOD、アンモニア態窒素

イ. 魚病情報の収集、伝達

魚病発生時の緊急対策における病魚の収集、その結果等の伝達を行なった。その他魚病に対する一般的な相談や医薬品の使用に対する相談を行なった。(表4)

表4 魚病情報の収集、伝達

	魚病情報の種類	件数	情報源		魚病情報の種類	件数	伝達先
収集	魚病相談(照会)	13	養殖漁業者	伝達	治療予防対策や	49	養殖漁業者
	(検査依頼)	36	養殖漁業者		魚病診断結果(回答)		

4. 医薬品適正使用対策

表5に示した様に巡回指導をした時に医薬品の適正使用に関する地域の普及を行なった。同時に養魚や魚病についての講習も実施した。

表5 医薬品適正使用対策

年月日	実施場所	対象人数	実施内容
63. 4. 2	大田市	13人	水産用医薬品の適正な使用方法について指導, その他養魚, 魚病講習も行なった。
4. 5	吉田村	5	同上
4. 8	三刀屋町	6	同上
9.16	温泉津町	10	同上
10.17	三刀屋町	10	同上